



さぎそう

帰国・外国人教育相談室だより

令和7年9月16日発行
世田谷区 帰国・外国人教育相談室（梅丘中学校内）

後期スタートの様子

1学期の振り返り作文や夏休みの作文から、皆さんの学習の成果が表れています。
はじめに植えた種が芽吹き始める時です。後期も自分のめあてにむかって学習しましょう。
今年度は、学習中の様子をできるだけ写真でご報告します。まずは1学期の様子から。

はじめの会の様子



ペア学習「〇〇の〇〇」を表す言葉



七夕の飾りつけ「季節の行事」



グループ学習の様子「俳句」



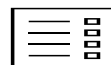
トピック

支援校 4 校の先生方と共に「DLA(文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための対話型アセスメント)」について」の研修をはじめました。

きっかけは、世田谷区立上北沢小学校 国際教室において、都から講師を招いてアセスメントを実施されるということからでした。



この度、文部科学省では「外国人児童生徒のための J S L 対話型アセスメント DLA (平成 26 年 1 月)」を改定し、「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための対話型アセスメント DLA (令和 7 年 4 月改定版)」を作成しました。この件については、先年度も支援校の各先生方は興味をもっていらして、都の先生方の評価の場面を拝見できれば勉強になるということになりました。



2 学期に入り、世田谷区教育委員会 教育指導課 指導主事の高麗 裕太先生にお願いして、研修の場を設けていただきました。

加えて 世田谷区立上北沢小学校 校長 三浦 健仁先生並びに、副校長 高橋 章浩先生には、快く研修の場をご提供いただき大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

9 月末、支援校の先生方が、上北沢小学校に集まりました。アセスメントの様子を拝見し、その評価についてお話を伺って、自校の児童生徒の指導にどう活用していくかを考えようとしています。



少しずつその成果をお伝えできればと考えております。

文化的言語的に多様な背景を持つ
外国人児童生徒等のための対話型アセスメント

DLA

Dialogic Language Assessment
for Culturally and Linguistically Diverse Students

文化的言語的に多様な背景を持つ 外国人児童生徒等のための対話型アセスメント Dialogic Language Assessment for Culturally and Linguistically Diverse Students

序章 改訂にあたって

目の前にいる子どもを、
「日本語ができない子ども」
として見ますか。それとも、
「日本語も母語もできる可能性のある子ども」
として見ますか。
どちらの立場に立つかによって、
子どもの未来は180度ちがってきます。

改訂版の序章より